



例題1

九九を思い出して表に書きこみましょう。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1の段	1								
2の段	2								
3の段	3								
4の段	4								
5の段	5								
6の段	6								
7の段	7								
8の段	8								
9の段	9								



[例題1の解説]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1の段	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2の段	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3の段	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4の段	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5の段	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6の段	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7の段	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8の段	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9の段	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81



例題2

□にあてはまる数はいくつですか。

- (1) $\square \times 3 = 21$
- (2) $9 \times \square = 45$
- (3) $4 \times 0 = \square$
- (4) $\square \times 9 = 0$

答え (1) 7 (2) 5 (3) 0 (4) 0

[例題2の解説]

「かける」か「わる」かわからなくなったときはかんたんな計算でためしてみましよう。

例えば、 $3 \times 2 = 6$ をもとにしてためしてみます。

$3 \times \square = 6$ のとき、 $\square = 6 \div 3 = 2$ です。数が大きくなったり小さくなったりしても同じです。

$\square \times 2 = 6$ のとき、 $\square = 6 \div 2 = 3$ です。

- (1) $7 \times 3 = 21$ なので、 $\square = 7$
- (2) $9 \times 5 = 45$ なので、 $\square = 5$
- (3) 0 (ゼロ) をかけたり、0 (ゼロ) がかけられたりすると0 (ゼロ) になります。
 $4 \times 0 = 0$
- (4) 0になっているので、 $\square = 0$

ポイントまとめ

- ・「かける」か「わる」かわからなくなったときはかんたんな計算でためしてみましよう。
- ・0 (ゼロ) をかけたり、0 (ゼロ) がかけられたりすると0 (ゼロ) になります。